

高齢者住まいの質の向上に関する検討会

検討会

(目的) 専門部会の報告書を踏まえ、課題への対応・方向性を定め、大阪府高齢者計画への反映、指導の強化及び国への提言を行い、高齢者住まいの質の向上を図る。

(メンバー) 学識経験者、自治体、高齢者住まい関係者、関係課等

大阪の現状

- 要介護認定率、被保険者一人当たり介護費が全国一高い。
- 有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅定員数 59,215人 > 介護保険3施設定員数 53,166床

実態調査結果による課題

- 介護サービス利用状況実態を逐次把握する方策がない。
住民票所在地から捕捉すると、捕捉率は36.2%
- 要介護3以上では、特養よりも介護給付費が高い。
(要介護5の場合)
特養 281,257円、有料住宅型 337,738円、サ高住指定なし 331,614円
- 介護度の高い方が多く入所している。
(平均要介護度)
特養 3.88、有料住宅型 2.80、サ高住指定なし 2.27

検討内容

- 効果的なサービス利用の実態把握方法
- 効果的なケアプランの点検方策と、利用者本位の介護保険サービス利用の確保方策
- 効果的な高齢者住まいの指導・監督・連携体制
- これからの高齢者住まいのあり方や期待する役割等